

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (中国)	◎	乗用車販売店（営業担当）	・決算期に入り、客の動きも良くなるため、景気は良くなる。
	◎	観光型ホテル（営業担当）	・年末にかけて先行予約が順調である。年末の宴会需要の回復は望めないが、個人の宿泊や今後の経済政策が期待できる。
	○	商店街（理事）	・客が新型コロナウイルス禍の生活に慣れてきているため、景気はやや良くなる。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	・消費ムードが戻ってきていることから、年末年始の受注が見込める。
	○	スーパー（店長）	・来客数の増加傾向が続き、売上も増加する。
	○	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で外出が自粛されれば、年末年始の購買の増加が期待できる。
	○	スーパー（業務開発担当）	・外出、外食を控えた動きがしばらく続くため、クリスマスや年末商戦も強気の数字を計画している。
	○	スーパー（営業システム担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加等の報道が多く、客が不安を覚えて外出を控えるため、主に食品の巣籠り需要が増加する。
	○	コンビニ（エリア担当）	・今後も景気の回復傾向が続く。
	○	家電量販店（店長）	・気温の低下につれて新型コロナウイルスがまん延し、家で過ごす時間が増加すると、快適に過ごすために必要なエアコン、暖房器具、加湿器が更に伸長する。
	○	家電量販店（販売担当）	・年末年始の新型コロナウイルスの状況次第であるが、景気はやや良くなる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が多少あるかもしれないが、新型車の追加で商品のラインアップが豊富になり、最大需要期を迎えるので景気は良くなる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・決算直後は落ち込んだが、現在はやや復調気味であり、年末年始の繁忙期に入るため、客からの相談も増加する。
	○	高級レストラン（事業戦略担当）	・Go To Travelキャンペーンの延長が予定されているため、2月以降の予約も延長の発表を受けて動いてくる。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発され、今よりはやや良くなる。
	○	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が拡大しない限り、人々が新型コロナウイルス禍の生活に慣れるため、消費が大きく下向きとなる要素は減っていく。また、今後、インターネットやその活用サービスの需要はより高まる。
	○	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加してきているが、客がウィズコロナに慣れてきたため、経済も少しずつ上向いていく。
	□	商店街（代表者）	・Go Toキャンペーンやプレミアム付商品券などが景気の下支えをしているが、客が必要以上に物を買わなくなり、実店舗への来店よりも宅配での購入をするようになる。
	□	商店街（代表者）	・商店街を通行する人の数が増加してきているが、新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は変わらない。
	□	一般小売店〔食品〕（経営者）	・景気は新型コロナウイルスの動向次第である。
	□	一般小売店〔印章〕（経営者）	・今後、年末年始に掛けて、新型コロナウイルスの状況が悪くなる。
	□	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が増加しない状況で、今後も景気は変わらない。
	□	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染が始まって初めての冬場を迎えるが、今後、状況が良くなることはない。
	□	百貨店（営業担当）	・現在、外出客が減少し、衣料品が売れない状況であるが、新型コロナウイルスの影響が続く限り、今後も景気は変わらない。
	□	百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスの患者数が爆発的に増加しない限り、現在の状況が続く。
	□	スーパー（店長）	・今後も来客数が前年並み、売上が前年の105%で推移する。
□	スーパー（店長）	・今後も来客数に変化はなく、景気も変わらない。	

□	スーパー（店長）	・ここ数か月、前年と比べ、やや悪い状況が続いており、今後もこの状況が続く。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス禍で年末年始商戦がどうなるか予測できない。新型コロナウイルス禍で初めて1年で最大の商戦を迎えるが、競合店の増加もあり、景気が大幅に回復することはない。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大への不安もあり、景気が良くなることは考えにくい。
□	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、景気は変わらない。
□	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響を余り受けていないので、景気は変わらない。
□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが悪くなり、来客数が減少することが懸念されるが、近所の体育館の改装工事で工事関係者の来客が期待されるため、景気は変わらない。
□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かないと何も変わらない。
□	コンビニ（副地域ブロック長）	・最近の新型コロナウイルスの拡大で、人の流れが再びストップする可能性もあり、先行きが不透明である。
□	衣料品専門店（経営者）	・消費の状況からすると景気回復には時間が掛かる。
□	衣料品専門店（代表）	・今後も新型コロナウイルスの波が来るたびに影響を受け続ける。
□	乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが全くみえない状態である。
□	乗用車販売店（統括）	・今後も新型コロナウイルスの影響が続く。
□	乗用車販売店（店長）	・来客数が増加傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は良くならない。
□	自動車備品販売店（経営者）	・現状、新型コロナウイルスの終息を望むべくもなく、客の動きも鈍く、先行きの見通しもない。良い材料は何もなく、たとえ葉ができたとしてもすぐに景気は良くならない。
□	その他専門店 [時計]（経営者）	・先行きがみえない状況で、客の購買意欲がそがれ、景気は厳しい状況からなかなか脱出できない。
□	その他小売 [ショッピングセンター]（支配人）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、国民の警戒心も強い状況が続く。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの対策が個人の裁量で行われ、店舗はできる限りの対策を講じているが、ワクチン等社会的に認知された処方が普及するまではこの状態が続く。
□	一般レストラン（店長）	・Go Toキャンペーンの食事券やポイントがなくなってからが不透明なので少し不安があるが、ある程度今の景気の状態を維持できる。
□	スナック（経営者）	・よほどのことがない限り、この業界は良くならない。
□	旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンが悪影響を及ぼし始めている。一旦中止して人の動きを抑える必要がある。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、まだまだ客が戻っておらず、特に夜は厳しい状況であり、今後も景気は変わらない。
□	通信会社（経理担当）	・先がみえない状況が続いているため、しばらくは状況が変わらない。
□	テーマパーク（営業担当）	・一時的に悪化するかもしれないが、3月までには現状くらいまでは回復する。
□	テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
□	観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの影響で、自粛する人が増加する。
□	競艇場（企画営業担当）	・3か月後の2月中旬までは引き続き西日対策で発売時間を短縮するため、景気は変わらない。
□	その他レジャー施設 [温泉センター]（担当者）	・新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあり、全く先が読めない。また、インフルエンザが流行するこれからの時期にどういう状況になっていくかも分からないため、景気の回復が見込めない。
□	設計事務所（経営者）	・来場の動向が不透明であり、今後も景気に大きな変化はない。
□	設計事務所（経営者）	・今後は新築より古家や空き家のリフォーム工事が増加してくる。新型コロナウイルスのワクチンが出回らないと人の気持ちも動かさず、景気が良くなる方向に向いてこない。
□	設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、今後も客が住宅を新築するような大きな決断ができなくなる。

□	住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くが、基本的に今後も販売数等は変わらない。
▲	商店街（代表者）	・今後も危機的状況が続く。
▲	一般小売店〔茶〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が全国的に増え始めており、景気にまたブレーキが掛かる可能性がある。
▲	百貨店（営業担当）	・当初、景気は良くなると思っていたが、ここに来て都市部で新型コロナウイルスが拡大しているため、今後、地方にも徐々に影響が出てくる。年末年始の帰省客の来店なども不透明である。また、取引先の運営状態も一層厳しくなってくる。
▲	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大局面で、外出自粛や消費マインドの低下が起きる。また、取引先の冬物の商品供給が例年に比べ少ないため、売上が減少する。
▲	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの影響で、客の外出の頻度は例年の年末よりも減少する。特に、クリスマス需要は、衣料品や洋品などの不調もあり上昇しきらない。
▲	百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの状況次第で撤退ブランドが増加し、売上の減少が続く。
▲	百貨店（外商担当）	・今後1～2か月の厳冬期に新型コロナウイルスの感染者が増加し、客の購買心理が更に低下する。
▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により企業業績が悪化、客の所得が減少し、節約するため、売上が減少する。
▲	コンビニ（支店長）	・今後、企業のボーナス減少の影響が発生する。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、しばらくは厳しい状況が続く。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、地域の人々の行動範囲が狭くなり、来客数が減少する。
▲	家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で経済活動が収縮し、景気がやや悪くなる。
▲	乗用車販売店（店長）	・新型車が出たため、にぎわうことを期待したいが、新型コロナウイルスがこの状況では客との接触も難しく、今後も盛り上がりには欠ける。
▲	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続くため、景気はやや悪くなる。
▲	その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、高齢者が多い地方では、外出者が減少するため、景気はやや悪くなる。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加につれ、客や市場も危機感を持ち始めており、Go Toキャンペーンも限定的なため、年末商戦に対する不安が高まってくる。
▲	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・閑散期に入ること、周辺のスキー場の倒産、新型コロナウイルスの影響などから、景気はやや悪くなる。
▲	観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスの影響で宿泊のキャンセルが発生する。
▲	都市型ホテル（企画担当）	・Go To Travelキャンペーンの終了に伴う反動が懸念される。
▲	都市型ホテル（企画担当）	・最近の感染者数の増加の影響で、宿泊、レストランいずれも先の予約受注の伸びが鈍化しており、レストランでは逆に予約のキャンセルが増加しつつある。2月に修学旅行やスポーツ団体の受注があるが、自粛ムードがまん延しつつあるなか、キャンセルの可能性も出てきており、先行きが不透明である。
▲	都市型ホテル（総支配人）	・Go To Travelキャンペーンによる観光客の増加が期待されるものの、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあること、ビジネス客が落ち込むこと、年末年始を除くと例年オフ期に入ることなどから、景気はやや悪くなる。
▲	旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で今後も回復は見込めない。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、県外に出張する客が減少し、密を避けて忘年会や新年会を中止する客も増加するので、景気はやや悪くなる。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの予防薬や治療薬が確立しない限り、景気は良くならない。
▲	タクシー運転手	・例年であれば、忘年会シーズンは夜の客の動きやタクシー利用が良くなるが、今年は新型コロナウイルスの影響でやや悪くなる。

	▲	放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、景気はやや悪くなる。
	▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は避けられず、現状持ちこたえている業態もこらえきれなくなる。
	▲	通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により客が買い控えをするようになる。
	▲	テーマパーク（業務担当）	・イルミネーションが終わり、閑散期になることや今後の新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念などから、景気はやや悪くなる。
	▲	観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により旅行客の減少が見込まれるため、景気はやや悪くなる。
	▲	ゴルフ場（営業担当）	・今後、景気は県独自の自粛や緊急事態宣言などに左右される。
	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス発生後の客離れから回復していない状況で、客の自粛傾向も強まっているので、景気はやや悪くなる。
	▲	美容室（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が発令されたときのような状況になる可能性が高いため、景気はやや悪くなる。
	▲	住宅販売会社（営業所長）	・新型コロナウイルスの影響による客の雇用や所得減少に対する不安もあり、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・消費税の引上げと新型コロナウイルスの影響で、これから先に持ちこたえる店舗がどれだけあるか不安である。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・年末の買物需要に期待しているが、新型コロナウイルスの感染者数が増加すると減収は避けられない。
	×	百貨店（販売計画担当）	・ボーナス支給額の減少、雇用不安、密を避けた新しい生活様式に伴う来客数の減少、取引先の商品供給力の低下などにより、景気は悪くなる。
	×	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス感染対策として、広告の自粛や催事、イベントの中止が相次いでいる。また、客の消費意欲も落ちてきているように見受けられる。このため、景気の先行きはかなり厳しくなる。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンで正月明け1月10日前後から新型コロナウイルスの感染者数が爆発的に増加し、2度目の緊急事態宣言が発せられる。
	×	住関連専門店（営業担当）	・イベント以降の来客数が余りにも少なく、今後、景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大により街は閑散とした雰囲気に変ってしまった。Go Toキャンペーンで増加していた客が一気に遠のいてしまったため、今後も景気は悪くなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・例年も年が明けると客が節約モードに入るため、厳しい状況になるのだが、今年度は特に新型コロナウイルスの影響もあり、新年会や送別会の予約が期待できない。また、新型コロナウイルスの影響で、食品業界でテイクアウトが増加し、内食メニューの進化や充実も進んでいるため、外食業界はますます厳しくなる。
	×	観光型ホテル（宿泊担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は悪くなる。
	×	通信会社（広報担当）	・新型コロナウイルスの影響で、今は控えるという言葉をよく聞くようになってきているため、今後も景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・客の動きが良くなると景気はどんどん悪くなる。
企業 動向 関連 (中国)	◎	*	*
	○	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・生産量の回復傾向が強く、休業を解消する部署が多くなる。
	○	鉄鋼業（総務担当）	・中期見通しでも受注動向が上向いているため、景気はやや良くなる。
	○	非鉄金属製造業（業務担当）	・電池、電子材料関係の受注が引き続き堅調に推移するため、景気はやや良くなる。
	○	輸送業（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で、今後も巣籠り需要が増加するため、日用品や食品関係の荷動きが活発になる。
	○	輸送業（総務・人事担当）	・現在、受注が堅調であるため、景気はやや良くなる。
	○	会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるが、治療薬やワクチンが普及すれば、景気はやや良くなる。

	□	農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスが終息する見込みが立たないため、景気は変わらない。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続き、人の動きが制限されてくるため、景気は良くならない。
	□	食料品製造業（総務担当）	・原材料の輸入価格が目まぐるしく上昇し、企業努力だけではカバーできない厳しい状況にあるため、今後も景気は変わらない。
	□	化学工業（経営者）	・製品の主原料となる苛性ソーダの価格が下落基調にあり、新型コロナウイルスの影響も続くため、景気の回復は期待薄である。
	□	化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かないので、景気は変わらない。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加していることから、景気が大幅に変わることはなく、むしろ下降する懸念もある。
	□	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客からの受注内示量が減少傾向にあるため、景気は変わらない。
	□	建設業（経営者）	・土曜日、日曜日で作業していた製造業の工場改修工事が、日曜日のみの作業となり、工場の稼働率が上がってきているので、今後、これ以上景気は悪くならない。
	□	建設業（総務担当）	・今後に向けての予定物件は十分にあるが、景気は変わらない。
	□	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスの拡大が懸念されるが、今後、景気に大きな変化はない。
	□	通信業（営業企画担当）	・IT関連やデータセンターの需要は2～3年かけての計画需要が多く、景気に左右されることが少ない。新型コロナウイルスの影響で動きが若干鈍かったが、後は動きが活発化する。
	□	通信業（営業担当）	・年明け案件の商談が順調に進んでいることから、現在と同程度の受注を見込んでおり、特需要因もないことから、2～3か月先の景気は現在とさほど変わらない。
	□	金融業（融資企画担当）	・北米と欧州の新型コロナウイルス再拡大の影響で地元完成車メーカーの世界販売の回復が止まる。系列の地元部品メーカーの受注も当面は前年の9割程度で推移する。
	□	不動産業（総務担当）	・例年どおりであれば、景気はさほど変わらない。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で受注量や販売量が上向く見込みがないため、景気は変わらない。
	▲	繊維工業（監査担当）	・人の動きが制限され、冬物衣料の売上が減少する。
	▲	木材木製品製造業（経理担当）	・全体的に購買意欲が減少傾向にあり、これから冬を迎え、新型コロナウイルスが全国的に急激に拡大する予兆があるため、今後、景気はやや悪くなる。
	▲	金属製品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者数の増加により、客から不要不急の来社を控えるよう要請があり、他社も追随するものと想定されるため、受注量は良くも現状程度、実際はやや下がる。
	▲	一般機械器具製造業（管理担当）	・閑散期になるため、景気はやや悪くなる。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・11月に入り急激に新型コロナウイルスの感染者数が増加し、1日当たりの感染者数も過去最高を記録していることが、今後の事業活動に悪影響を及ぼすため、景気はやや悪くなる。
	▲	金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルスが再び拡大していることで、全国的に自粛要請が広がり、経済が停滞する。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きをみる限り景気は悪くなる。
	×	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・短期的な景況好転の材料がないため、景気は悪くなる。
	×	コピーサービス業（管理担当）	・電子化が進み、紙媒体は不必要な存在となる。今まではどちらかといえば大企業や中企業が中心であったが、今後、中小企業に電子化が浸透していけば、更に紙媒体に係るコピーサービスや出力業務の需要はなくなる。
雇用 関連	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（経営者）	・景気は新型コロナウイルスの状況次第である。

(中国)	○	職業安定所（事業所担当）	・新型コロナウイルスが多くの業種に影響を与えているものの、雇用調整助成金等申請は減少に転じており、雇用は新型コロナウイルスの感染再拡大の影響を見極めている状況である。また、雇用保険関係を前年と比較すると、適用事業所数は9月が前年比2.1%増加、10月が前年比2.3%増加、被保険者数は9月が前年比0.5%増加、10月が0.4%増加といずれも微増で推移している。一方、資格喪失者数は9月が前年比11.9%減少、10月が前年比7.5%減少となっている。また、新規求職者数を前年と比較すると、9月が前年比3.7%減少、10月が前年比4.5%と減少しているが、有効求職者数は9月が前年比10.1%増加、10月が前年比13.1%増加となっている。
	□	人材派遣会社（経営戦略担当）	・今回の新型コロナウイルスの感染拡大によって新たな緊急事態宣言が出れば別だが、現時点では景気がここから上向く材料も更に悪化する材料も見当たらない。
	□	人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、今後、経済が停滞する懸念がある。
	□	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新卒採用の状況が改善しておらず、新型コロナウイルス禍の早期に採用を中止した企業が採用再開に踏み切る一方で、これから採用を停止する企業も散見されることから、景気は良くならない。
	□	求人情報誌製作会社（広告担当）	・既にインターンシップが始まっているが、企業に出向いて直接実施するところが少なく、また都道府県をまたぐ移動に対応せずにWeb開催を検討する企業が増加している。ただWeb型インターンシップを実施するノウハウがない企業が多く、結果的にインターンシップ実施は全体的に減少傾向にある。間もなく2022年卒採用がスタートするが、インターンシップによる活動が減少すれば、そのまま採用活動にも影響し、活動が鈍くなるおそれがある。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・個人の消費活動は回復傾向にあるが、企業活動はまだまだ停滞感から抜け出す気配はない。景気は今後の新型コロナウイルスの状況によるところが大きく、判断が難しい。
	□	職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの影響でストップしていた自動車関係から金属加工業への発注が再開した一方、同じ金属加工業でも製造機械や半導体製造機械からの受注は回復が遅れるなど、まだ模様となっており先が見通せない。
	□	職業安定所（雇用関連担当）	・時期的に一時的な求人が多くなるかもしれないが、臨時求人では景気動向は上向かない。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスが再び拡大しているため、回復基調にあった景気が後退を余儀なくされる。年末の移動が制限され、自粛期間に業績を伸ばした宅配など特定の業種を除き、景気は停滞する。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルス禍で雇用状況は良くないが、Go To Travelキャンペーン、雇用調整助成金、地方公共団体の支援策等により、辛うじて現在の景気を維持する。
	▲	人材派遣会社（社員）	・Go Toキャンペーンで景気が盛り返してきたが、新型コロナウイルスの影響で経済は再び停滞に向かう。
	▲	民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・年末が山場という噂の飲食店やサービス系の店が多数あったが、新型コロナウイルスの感染拡大が追い打ちをかけるため、閉店を検討する店が出てくる。
	▲	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルスの影響で幾つかの業界で業績が急激に悪化しており、その影響が他の業界にも波及しているため、今後、全体的な求人数が更に減少する。
	▲	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスの再拡大の影響が今からじわじわと出てくるので、景気はやや悪くなる。
	×	人材派遣会社（支社長）	・求人数は前年比80%程度で推移、登録者数は前年比60%程度まで落ち込んでいる。求人数の減少、求人の質の低下、派遣離れなど雇用環境は思わしくないことから、景気は悪くなる。